

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立押沢台小学校
校長 加藤 由紀子

事業テーマ	探究的な学習を自律的に進めていく児童の育成	
取組の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学びを自分でコントロールしていく力を育成する。 ・自律的に進めていく中で、個別最適な学びと協働的な学びを実現していく。 	
区分 (○印を付ける)	新規事業・継続事業（総事業年数 3年間、1年目）	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容	昨年度までは「学びを深め、自己表現を楽しむことのできる授業づくり」として、児童が自律的に学ぶことができるよう「学習過程」を意識した授業づくりを進めてきた。今年度は、探究的な学びになるよう、さらなる授業改善を進めるために、引き続き泰山先生のご指導を受ける。	
事業名	事業内容	実施時期
1 探究的な学びを実現する授業づくり	中京大学 泰山裕先生をお招きして、児童が自律的に学習を進めることのできる授業づくりについて教職員研修を行う。	6月 10月 2月
2 地域の教育力を生かした授業・活動	地域の方を講師に招き、お話を伺ったり技術を学んだりすることで、自分の好きなことや得意なことを見つける。	年10回 各学年1～2回
<p>取組の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 泰山先生の指導のもと、シンキングサイクルを使って、子どもたちが探求的な学びを自律的に進めていく素地になるものが形成されつつある。 ○ 児童に示す学習の手引きの作成のコツや、ルーブリックの設定の基準など、具体的な方策を身に付ける機会を得られた。 ○ 専門的な知識をもった外部講師を招き講話を聞いたり体験学習をしたりすることで、新たなものの見方・考え方が広がったり、自分の将来について考えたりするきっかけとなった。 		
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 探究的な学びを進めていくためには、子どもに学習のすべてをゆだねるのではなく、一斉指導の場面と子ども自身が学びを進める場面とを使い分けていくこと。 ○ 子ども自らがシンキングサイクルを回して学習を進めていく授業のスタイルに挑戦する機会となったが、常時の授業改善へとは結び付いていない。今後はさらに、このスタイルがベースになる単元構想・授業構成を考えられるよう、学校全体が同じ方向を向けるように活動を進めていく。 		